

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	氷見市における安全・安心な道路交通環境の整備推進（防災・安全）											
計画の期間	令和02年度～令和06年度（5年間）											重点配分対象の該当
交付対象	氷見市											
計画の目標	老朽化した道路や、その施設等を中心に点検・修繕を進め、市民が安全で安心して通行することのできる道路環境づくりを行う。											
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）	427	A	427	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A + B + C + D)	0%

番号	計画の成果目標（定量的指標）				定量的指標の現況値及び目標値			
	定量的指標の定義及び算定式				当初現況値	中間目標値	最終目標値	
					(R2当初)	(R4当初)	(R6当初)	
1	歩行者等に危険とされる道路について補修等の対策を講じることにより、安心して通行できる道路整備の対策率を100%に上昇させる。 氷見市道における交通危険箇所の対策率 (対策済み延長：1,400m) × 100				21%	62%	100%	
2	老朽化した除雪機械の更新等の対策を講じることにより、安心して通行できる冬季道路の対策率を100%に上昇させる。 氷見市所有の老朽化した除雪車両の対策率 (対策済み台数) / (要対策台数：5台) × 100				0%	20%	80%	

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靭化を含む	<input type="radio"/>	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	-----------------------	----------	-----------------------	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																						
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間(年度)		全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況						
		一體的に実施することにより期待される効果																				
		備考																				
道路事業	A01-001	道路	一般	氷見市	直接	氷見市	市町村道	修繕	(他) 御座町地蔵線ほか 3 5 路線 地蔵町他	歩行空間整備(側溝蓋かけ) L=1,400m	氷見市					237	-					
	A01-002	道路	雪寒	氷見市	直接	氷見市	市町村道	雪寒	(他) 漁港吐川線ほか	消雪施設更新 L=1.29km	氷見市					62	-					
	A01-003	道路	一般	氷見市	直接	氷見市	市町村道	修繕	(他) 泊海岸線	災害防除 L=84m	氷見市					13	-					
	A01-004	道路	雪寒	氷見市	直接	氷見市	市町村道	除雪(機械)	(他) 北八代堀田線ほか 4 路線 堀田他	除雪機械購入 5 台	氷見市					115	-					
												小計				427						

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

氷見市

事後評価の実施時期

令和7年11月

公表の方法

氷見市ホームページに掲載

事業効果の発現状況

定量的指標に関する
交付対象事業の効果の発現状況

生活道路における歩行空間の確保など安全対策の工事に取り組み、歩行者が安全に通行できる環境を整備した。
老朽化した除雪機械の更新を行い、冬期の安全で円滑な交通の確保を図ることができた。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

特記事項（今後の方針等）

地区要望や道路パトロール等により新たに発見された危険個所について、点検を行い対策を検討し、安心して通行できる歩行空間を整備していく。
除雪機械の計画的な更新および適切な維持管理を推進し、冬期における安全で円滑な交通確保体制を強化する。

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	最終目標値	100%	
	最終実績値	100%	
2	最終目標値	80%	
	最終実績値	80%	